

妙国寺寺報

平成二十二年八月発行 第十三号

上善は水の如し

渡邊義専

いつのまにか今年も猛暑。あれほど続いていた雨も本年は九州北部では観測史上最も遅い梅雨明けとなり、先日のニュースでもすさまじいほどの力を見せた雨がもたらす水害。水の力の恐ろしさをまざまざと感じさせられました。しかし、考えてみると水ほど柔軟なそして、秘めたるエネルギーをもっている物質は他にはないのです。中国古典の『老子』には「上善は水の如し」という言葉があります。「上善」つまりは最も理想的な生き方という意味です。理想的な生き方をするのなら水の持つ性質に習いなさいということなのです。

一つ目は、水は器によって形を変えることができる。丸い器に入れば丸くなり、四角い器に入れば四角くなる。つまり、状況次第で自分を変化させる柔軟性があり、人も水のように常に柔軟性を心がけなければならぬ。

二つ目は、水は常に高い所から低い所に流れます。人は低い所にいくことを嫌がりませんが、他の人が嫌がることをする謙虚さも必要です。

三つ目は、水は時に自分の能力を爆発させる力強さがあります。人はいざという時には、一気に自分の持つ力を爆発させるエネルギーも必要です。

そして水は生命の源となりうる大きな優しさを持つのです。

時には自分の生き方を水に照らし合わせて振り返るのも良いかもしれませんね。



*行事予定

- *八月十六日十一時
お盆施餓鬼供養 (法要・法話)
- *九月八日十一時
月例鬼子母神祭 (祈祷・法話)
- *九月二十三日十一時
秋季彼岸施餓鬼供養
(法要・法話)

*千葉県清澄寺にて中央檀信徒研修道場が開催

中央檀信徒研修道場とは各地で毎年行われる檀信徒研修道場を終了した方が全国から集まり、大本山で行われる檀信徒の研修機関です。期間は二泊三日で、本年は本寺の住職が主任講師として千葉県清澄寺で開催されました。また、上野涼補さんと井上利光さんが研修生として参加されました。

中央檀信徒研修道場に参加して

井上 利光

初日からの法華経講義又、御遺文、祖伝と講義が続き、夕食後の自己紹介を中心とした法話と楽しいひと時を過ごし、九時三十分消灯、三時三十分起床、山頂での御題目、摩尼殿、祖師堂、道場にての朝勤に始まり、講義、諸堂参拝、書写行、唱題行、法座、九時三十分の消灯。旭ヶ森で御来光を拝むことができなかつたことが心残りですが、研修生が一体となり唱えた御題目は一生の思い出となりました。一番苦手な書写行、日頃からもっと色々な事に努力をしなければいけないと思いました。地元に戻りましても、一般檀信徒の皆様また、家族の子供孫達までも御題目のありがたさ、またこの道場で学んだことを伝えていきます。

今回の研修道場は、厳しく、またわかりやすく、本当に勉強になりました。ありがとうございました。

*檀信徒研修道場は熊本でも毎年開催

されております。法華経の教え、日蓮宗のことをもっと知りたいという檀信徒の方はどなたでも参加することが出来ます。興味がある方は、お寺まで一報ください。



中央檀信徒研修道場に参加して

上野涼補

平成二十一年六月三十日より七月二日まで二泊三日で千葉県鴨川市清澄寺で開催され、参加させていただきました。行きは東京までお上人様と井上さんと三人でした。主任講師であるお上人様は羽田空港にお迎えの車が来るということで、井上さんと二人で東京のホテルに一泊しました。東京では清澄寺行きのホームを確認し、ホテルにチェックイン。夕食まで時間がありましたので、皇居、銀座と銀ぶらしました。二重橋では警備のお巡りさんにツーショットを映してもらい、楽しい前夜でした。

翌日は清澄寺で受付をし、五人部屋で着替えて道場に入りました。熊本からは十四名参加し、全体で四十五名の三分の一と心強く感じました。遠くは秋田、新潟から大分県まで男性二十名女性二十五名とここでも女性上位でした。写真撮影に始まり、渡辺主任講師の法華経講義に続き、自己紹介を中心とした法座があり、入浴後九時三十分就寝しました。翌日は三時三十分起床。旭ヶ森へ旭日を参拝に登りましたが、小雨でご来光は見えませんでした。

朝のおつとめのあと、朝食を頂きますが、その前に食法を唱えました。食法は今も続けています。渡邊主任講師の講義で、聞法の修行を教えてくださいました。南無妙法蓮華経の中には、仏様の教えが全て入っていること。仏様に全てを捧げること。唯唱えるだけでは頂けない。修行方法として、先祖供養と同時に、私達の為にお経は説かれていること。口で読んでいたお経がじつとしみこんできて、体で覚えて、体に仏様が溶け込んでこられる。これからは大きい声で南無妙法蓮華経のお題目を唱えていくことの大切さをしっかり教わりました。

翌日も霧が深く旭日は見えませんでした。しかし、大きな声でお題目を唱えたことで心の眼で見た感じが致しました。

これからは子や孫へとお経を唱え伝えていって、多くの人へと環を広げていくことが大切であると思えました。本当に為になつた中央檀信徒研修道場でありました。ありがとうございました。南無妙法蓮華経。

お知らせ

月回向であげているお経の本(解説付)を制作しました。無料で配布しておりますのでご希望の方はご連絡ください。お経には私達の生きるための道しるべが説かれています。よく読んでも意味はなかなか理解できませんが何度も繰り返し読んでいくと必ず閃くものがあるはずですよ。

意味をかみしめながら一緒に回向をいたしましょう。